

それぞれのファン活動

—宝塚歌劇とファンをつなぐ起点—

高井 美月

[指導教員: 武庫川女子大学准教授 井上 雅人]

キーワード: 宝塚歌劇, ファン活動, インタビュー, ファンクラブ

1. 研究の背景

「ファン」は、特定の人物や事象に対する支持者や愛好者のことをさす。ファン活動としては、応援をしたり、対象となるものを観に行ったりすることが多い。

宝塚歌劇のファン活動は、エンターテインメント界の中で少し独特さがある。一番の特徴は、「非公認の私設ファンクラブ」が公認ファンクラブのように設立されていることだ。ファンと生徒（タカラジェンヌ）には強いつながりがあり、互いの関係性はファン活動により作り出されている。そこで本論文では、「宝塚ファン」に焦点を当てる。

2. 本研究の目的

本研究では宝塚歌劇のファンについて研究した。ファンには「非公認の私設ファンクラブ」に所属する者、しない者がいる。ファン活動の自由さが、私生活にどのように影響を及ぼしているのか、生徒とファンの距離が近いという特徴から、彼女たちの関係性に焦点を当てた。実際にファン数名にインタビューを行い、それぞれのファン活動を調査した。

3. 研究方法

- 1) 宝塚ファンや宝塚大劇場付近でのインタビュー、写真撮影
- 2) 宝塚に関する書籍やインターネットからの情報収集

4. 宝塚歌劇の歴史

「宝塚歌劇団」は、宝塚市に本拠地を置く未婚女性だけで構成された歌劇団である。創設されてから 100 年以上経った現在も変わらない。1974 年、『バルサイユのばら』が初演されると、観客合計 140 万人という空前の大ブームになった。これをきっかけに宝塚ファンが急増した。2014 年には、初公演から創立 100 周年を迎えた。

5. 宝塚のファンクラブ

宝塚のファンクラブには、宝塚歌劇団公認のファンクラブと、非公認の私設ファンクラブが存在する。

まず宝塚歌劇団公認のファンクラブとして「宝塚友の会」がある。公演チケットを先行予約抽選や先行販売で購入できる。

次に非公認の私設ファンクラブがある。ファンの間では「会」という。会の大きな特徴は、特定の生徒個人を応援することである。入会することでその生徒名でチケットを取る権利、楽屋入りや出の手伝いをする（ガード）権利が認められている。宝塚友の会よりも生徒との距離は断然近い。また応援してい

る生徒が出演する公演チケットであれば、会のほうが入手しやすい。

6. 私設ファンクラブの組織について

私設のファンクラブは、ファンが創設する。会を運営するために、ファンは代表とスタッフという役割を担わなければならない。両者ともより近くで、生徒の身の回りの手伝いや会の運営を無償で行っている。特に代表は生徒個人と「最も近い」といえる。代表が生徒のスケジュールを把握しており、生徒の名前でチケットを扱うなどマネージャーのような実務を担っている。代表やスタッフの仕事内容は、生徒の送り迎え、会員が着用する「会服」の制作、会員への連絡、お茶会や総見などイベント案内など多岐にわたる。

設立された会には、一般のファンが入会することができる。会員になる手段は、「お目当ての生徒にファンレターを送る」、「劇場にいるお目当ての生徒の代表やスタッフに声をかける」などである。入会すると、生徒の楽屋入り出のガードを行い、イベントに参加することができる。そのため会員は生徒のスケジュールを、代表やスタッフからの連絡を通して把握することができる。

私設ファンクラブには特有のルールがあり、お行儀の良いファンの集団である。決められた規律を守りながら、ファン活動を行うことが会員の務めだからだ。

7. 私設ファンクラブの歴史

現在の私設ファンクラブ活動のようなことが目立って行われるようになったのは、1970 年代からと思われる。1970 年代といえば、「バルばらブーム」の影響により宝塚歌劇の人氣が加速した時期だ。1980 年代に入ると、現在の私設ファンクラブの掟のようなものが形成されはじめた。1989 年にはじまる「第二次バルばらブーム」によりさらにファンは増え、ファンクラブは組織化され、現在のような活動が一般化した。2000 年代に入ると、ほとんど現在のようなファンクラブ活動がどこの会でも行われている。

8. ファンの声

宝塚に関する資料や、ファンの行動を目で見ているだけでは、わからないことが多い。そこでファン活動をしている方々の、ファンになったきっかけや、会についての詳しいお話、どのような視点を持ってファン活動を行っているのかをインタビューした。

インタビュー方法として、代表の方へのインタビュー、宝塚大劇場で会員・非会員・ギャラリー（宝塚大劇場付近で生

徒の楽屋入りを観ているファン) へのインタビュー, 知人の宝塚ファンにインタビューを行った。

8-1 インタビューを行ったファンのプロフィール

1. 宙組男役スター「澄輝さやと」の会代表を務められている、宝塚市在住女性 A さん。
2. 月組男役スター「暁千星」の会員の東京都在住 20 代女子大生学生の K さん。
3. 花組男役「飛龍つかさ」の会員、京都市在住 25 歳会社員女性佐藤さん。
4. 星組男役スター「七海ひろき」の会員 28 歳フリーター女性青野さん。
5. 宙組男役スター「澄輝さやと」の会員 大阪市在住 55 歳女性派遣社員。著者の叔母。
6. 星組娘役「星蘭ひとみ」の非会員のファン 30 代会社員女性大島さん。
7. 楽屋口でギャラリーをしていた非会員の 19 歳女子大生 C さん。

8-2 インタビューのまとめ

ファンになったきっかけはそれぞれだが、大きく「自発的に宝塚観劇に行く」、「他者に連れられ宝塚観劇に行く」の二つに分けられる。またすぐにファンになる人は、初観劇の際に生徒に一目惚れした 경우가多く、徐々にファンになる人は、何度も観劇をするうちに目当ての生徒を見つける場合が多い。

表 1: 宝塚ファンになったきっかけ

A さん	ファンになったきっかけは不明
K さん	懸賞が当たりたまま観劇 →すぐにファンになる
佐藤さん	舞台が好きで、観劇に行った →徐々にファンになる
青野さん	趣味探しの一環として、友人に連れて行ってもらった →徐々にファンになる
叔母	先輩に誘われて →徐々にファンになる
大島さん	家族がもともと宝塚ファンだった →知らないうちにファンになる
C さん	友人に連れて行ってもらった →すぐにファンになる

8-3 ファンのタイプ分け

次に生徒の応援スタイルについて分析した。応援スタイルは大きく分けると三つに分けられる。

積極的なファン…自分自身の時間やお金を、宝塚観劇や生徒に費やす割合が高い。最員の生徒一人を積極的に応援しており、宝塚ファン活動を軸に生活をしている。

広範囲応援型ファン…会員、非会員にかかわらず、「いい生徒はいないか」とアンテナを張っている。自分の好みの生徒をタイプ分けしたり、分析したりする。

マイペースなファン…会員の場合だと、会活動にあまり参加

しないなどがあげられる。応援したい気持ちは積極的なファンと同様だが、恥ずかしさや、集団行動への苦手意識があるため積極的に行動できない。

表 2: インタビュー結果によるファンのタイプ分け

積極的なファン	A さん, K さん, 青野さん, C さん
広範囲応援型ファン	佐藤さん, 大島さん, C さん
マイペースなファン	佐藤さん, 大島さん, 叔母

9. 結論

宝塚ファンはファン活動を、私生活の中に常に組み込んでいることが分かった。そしてファン活動を行う気持ちと時間、経済力が有れば活動の幅が驚くほど広がり、自由にファン活動ができる世界がある。

「会」という組織に所属していても、していなくても、宝塚ファンは色々なところで繋がっているように感じる。インタビューを通して、ファンは生徒のことを愛称で呼ぶことがあった。ファン同士の会話で「だいもんが、まあ様のグッズの T シャツ着ていたね」というように、他者が聞くと友達の話をしているように感じる。また、生徒の楽屋入り出を観察していると、生徒とファンが談笑している光景をよく目にした。このことから宝塚歌劇創設者、小林一三が創設当初ファンのことを「お友達」と呼んでいたことが、現代の宝塚ファンにも当てはまる。

今も昔も生徒との距離が近いゆえ、ファンと生徒との間に友達のような錯覚が生まれている。あくまでファンも生徒もお互いのことを友達だとは思っていないだろう。しかし他者から見れば、ファンと生徒の間には友達と言えるような関係性が成り立っている。友達のような関係性は、ファンのタイプにより様々で、「常に仲良くくっついているタイプ」、「付かず離れずのタイプ」、「広く浅くのタイプ」など様々だ。

宝塚ファンは生徒と、どのように友人関係を築いていくのかを、自由に選択できる。「ファン」でありながら「お友達」でもある宝塚ファンは、生徒に対してどこか親しみを持っているのかもしれない。そのため自分の時間を犠牲にして、生徒を応援するのだろう。このようにファンは生徒との距離を、ある程度自分で決めることができる。この自由さが、宝塚ファン活動の独特さを生み出しているのかもしれない。

参考文献

- ・宮本直美：宝塚ファンの社会学，青弓社，2011
- ・東園子：それぞれのファン研究，風塵社，2007
- ・空野りか：タカラヅカファンあるある，アスペクト，2013
- ・中本千晶：ヅカファン道，東京堂出版，2012
- ・宝塚歌劇団公式ホームページ
<https://kageki.hankyu.co.jp>
- ・宝塚クリエイティブアーツホームページ
<https://www.tca-pictures.net/>